指導者のための情報紙
URL：http://www.saitama-sports.or.jp/junior_club/
彩の国
スポーツともだち仲間たち
No.26
発行：財団法人 埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団　〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-1　埼玉県自治会館3F

この情報紙は各単位団へ3部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。

平成22年度指導者現地研修会

～種目別指導者など288人が参加～

平成23年1月29日（土）・30日（日）、平成22年度埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会が群馬県安中市磯部の「ホテル磯部ガーデン」で開催されました。

研修会には53市町村の指導者及び本部関係者などを含め288人が参加して、各種目の平成23年度事業計画を中心に話し合いが行われました。

また、昨年に引き続きREJISTA有限責任事業組合代表の谷塚　哲氏を講師に迎え、「スポーツ少年団におけるリスクマネジメントと具体例」をテーマに2日間、2回に分けて講演をいただきました。そこで、講演の概要や平成23年度種目別大会計画などについて報告します。

〔講演の概要〕

第1日目の「リスクマネジメント！」の内容を抜粋

スポーツ事故・怪我

スポーツとは常にリスクがつきものである。さまざまな場面においてリスクが発生する可能性がある。スポーツ指導とはいかにリスクを発生させないかが重要である。スポーツ指導者とは技術を教えることだけでなく、安全にスポーツを指導する責任がある。

⇒したがって、スポーツ指導者は安全にスポーツ活動のできる環境をつくる（整える）責任がある。

スポーツに内在する危険

スポーツには内在する危険がある。参加者各人はスポーツのリスクを承諾している。スポーツ活動中の事故や怪我の責任は、原則自己責任である（大原則）。しかし、この自己責任では済まされない場合も多い。体格的な差、趣旨、経験の差（用具、会場、技術レベル等）を考慮する必要がある。

⇒スポーツ活動の参加者が事故や怪我をした場合、指導者がどのような判断したのかについて責任を問われることもある。したがって、常に「安全な環境」の設定義務がある。

〔種目別参加者内訳〕

種　目	人数		
サッカー	56	空手道	14
軟式野球	97	柔道	11
バスケットボール	24	バドミントン	7
バレーボール	15	ソフトテニス	18
剣道	12	複合	7
ソフトボール	14	合　計	280

指導者と安全配慮義務①

指導者には安全配慮義務がある。対象者によってその度合いが違ってくる。予見可能性・回避可能性が必要である。指導開始前、指導後、行き帰り、遠征移動中も該当する。クラブ員以外の子どもたちへの責任もある。

⇒常に健康状態の把握に努めることが大切。また、無料体験活動の際には1日保険などの加入も考える必要がある。

指導者と安全配慮義務②

健康への安全配慮義務（熱中症対策）や天災に関する安全配慮義務がある。ボランティア指導員であっても責任がある。

⇒ボランティアであっても有償指導者と同様の責任が生じる。

保護者による車での送迎などについては、「団から直接依頼すれば、必然的に責任は免れない」。免責同意書をとったとしてもあまり意味はない。しかしながら、同意書をもらうことによって保護者などが注意するようになる。法の趣旨（裁判の判例）では、安全配慮義務の状況を見て判断される。

スポーツ中の突然死

自動体外式除細動器（AED）の設置場所等につい

て日ごろから確認しておくことが大切。

保険について

傷害保険や損害賠償責任保険などについて内容等を把握しているか。再度内容を確認のうえ、場合によっては再検討する必要がある。

子どもに事故や怪我が発生した際は、速やかな対応と関係者への報告が重要である。日ごろから保護者等とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築き、速やかな連絡・報告を日常から心がけていれば、自己責任として処理されることが多く、トラブルに発展しない。

平成23年度種目別大会計画

■■■軟式野球■■■

第30回埼玉県スポーツ少年団
夏季小学生軟式野球交流大会
期日　6月12日(日)・18日(土)・19日(日)
会場　荒川総合運動公園　他

第36回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会
期日　10月23日(日)・30日(日)・11月3日(祝)
会場　県営大宮・第二公園・吉見町総合運動公園
※　32チーム

第34回中学生軟式野球交流大会
期日　7月31日(日)・8月6日(土)・7日(日)
会場　未定

第7回埼玉県スポーツ少年団女子団員交流大会
期日　11月23日(祝)
会場　未定

■■■サッカー■■■

第40回埼玉県サッカー少年団大会
期日　11月6日(日)・13日(日)・20日(日)
会場　埼玉スタジアム2002（第2、第3グラウンド）他
※　各4地区を勝ち抜いた32チームによるトーナメント大会

■■■ソフトボール■■■

第34回ソフトボール中央大会
期日　8月20日(土)・21日(日)
会場　深谷市
※　男女共　16チームのトーナメント方式
※　各地区より選出（チーム数）
東部地区　男子1　女子4
西部地区　男子1　女子4
南部地区　男子11　女子5
北部地区　男子3　女子3

■■■空手道■■■

第27回空手道交流大会
期日　9月18日(日)
会場　県立武道館
※　700名　各ブロック選出
※　形　小学1年生～6年生（各学年男女別）
中学生（一括男女別）
組手　小学3年生～6年生（各学年男女別）
中学生（一括男女別）

■■■バレーボール■■■

第30回関東ブロックスポーツ少年団
バレーボール大会埼玉県大会
期日　7月2日(土)・3日(日)
会場　川越運動公園総合体育館・所沢市民体育館

第6回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会
期日　8月6日(土)・7日(日)
会場　熊谷スポーツ文化公園体育館　他

第8回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会
期日　8月28日(日)
会場　熊谷スポーツ文化公園体育館

第9回全国スポーツ少年団
バレーボール交流大会埼玉県決勝大会
期日　1月14日(土)・15日(日)
会場　さいたま市記念総合体育館

■■■バスケットボール■■■

第30回埼玉県スポーツ少年団
ミニバスケットボール交流大会
期日　7月2日(土)・3日(日)
会場　深谷市総合体育館（深谷ビックタートル）

第12回埼玉県スポーツ少年団
ジュニアリーダーバスケットボール交流大会
期日　8月7日(日)
会場　新座市民総合体育館

■■■柔道■■■

第33回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会
期日　8月21日(日)
会場　県立武道館
※　800名

■■■複合■■■

第31回複合種目大会
期日　9月3日(土)～4日(日)
会場　スポーツ研修センター・水上公園

■■■ソフトテニス■■■

第32回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会
中央大会（小学生）
期日　8月20日(土)
会場　熊谷市彩の国熊谷ドーム多目的運動場
中央大会（中学生）

期日　8月27日（土）
会場　熊谷さくら運動公園テニスコート

■■■バドミントン■■■

第30回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会
（団体戦）
期日　12月3日（土）
会場　久喜市総合体育館第一体育館

第18回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会
（個人戦）
期日　3月17日（土）
会場　蓮田市総合体育館

■■■剣道■■■

第35回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会
期日　8月28日（日）
会場　本庄シルクドーム

第34回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会
期日　12月3日（土）
会場　宮代町ぐるる宮代

■■■駅伝■■■

第29回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会
期日　2月11日（祝）
会場　朝霞市陸上競技場

種目別大会結果

第28回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

2月11日（祝日）朝霞市陸上競技場周辺コースにて、「第28回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会」が開催されました。みぞれの中、男子39団・女子23団が参加し、チームワークと健脚を競いました。

男子はFC宗岡（志木市）、女子はファイトマラソン（川越市）が優勝し、区間賞は次の団員が受賞しました。（丸数字は学年）

＜男子＞

1区：早川榛樹⑥（尾山台イレブン）7分19秒・2区：小林祐太⑥（尾山台イレブン）5分36秒・3区：菅原拓海⑥（ファイトマラソン）5分46秒・4区：安西竜晟⑥（戸塚FCJ）5分52秒・5区：谷村海人⑥（FC宗岡）5分48秒・6区：桑名凌宇⑥（FC宗岡）5分24秒

＜女子＞

1区：沢田美羽③（ファイトマラソン）7分45秒・2区：野口真希⑤（東松山陸上スポーツ少年団）6分18秒・3区：山崎冬華⑥（ファイトマラソン）6分28秒・4区：甲田真唯③（志木チェリーズ）、藤田真由⑥（吹上ミニバスケットボール）6分44秒・5区：中木野笑⑥（ファイトマラソン）6分30秒・6区：上野あかね⑥（高萩北チェリーズ）6分16秒

＊雪の中、子供たちの安全を図り、大会を運営された関係者、協力者の方ありがとうございました。

第33回全国スポーツ少年団剣道交流大会埼玉県予選

平成22年12月11日（日）熊谷市民体育館

＜団体戦＞

優勝　秩父市A（先鋒：新井玲也…荒川剣友会、次鋒：宮原咲季…明信本館、中堅：福島俊輝…荒川剣友会、副将：山中友華…大滝剣道、大将：小野将弥…荒川剣友会）
2位　熊谷市A
3位　小鹿野剣友会、上里町剣道

＜個人戦＞

中学男子①小林大希（荒川剣友会）②岩田真行（荒川剣友会）③松本舜平（修心館）・倉林圭一郎（児玉剣道教室）
中学女子①牛山直実（宮代剣友会）②太田こゆき（春日部剣道会）③角莉奈（松原剣道）・小澤久瑠実（松原剣道）

＊各優勝者は、平成23年3月26日～28日に兵庫県姫路市「兵庫県立武道館」で行われる全国大会に埼玉県代表として出場します。

第39回埼玉県サッカー少年団中央大会

平成22年11月22日

第6回埼玉県スポーツ少年団　女子団員軟式野球交流大会

平成22年11月27日（土）鴻巣市上谷総合公園を主会場として、埼玉県スポーツ少年団女子団員軟式野球交流大会が開催されました。当初11月23日開催が予定されていましたが、当日天候不順のため、延期されての開催でした。

この大会は、県内軟式野球種目の女子団員に同性のみの楽しい競技を念頭に運営することで、参加団員が交流の輪を広げ、友情と協力を育む場となることを目的として開催されているものです。

県内各地より、18チーム281名の参加があり、埼玉栄中学・高等学校の軟式野球部員37人の協力により開催することができました。普段は男子と一緒に活動し

優　勝　江南南サッカー少年団（熊谷市）
準優勝　越谷FCジュニア（越谷市）
第3位　浦和三室サッカー少年団（さいたま市）
　　飯能ブルーダーサッカー少年団（飯能市）

県民総体埼玉県スポーツ少年団競技別交流大会

第8回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会

平成23年1月16日　さいたま市記念総合体育館
優勝　男子　所沢育星レオJVC
　　女子　上尾クラブ
＊上尾クラブは、平成23年3月28日から行われる全国大会（三重県開催）に出場決定しました。

第26回埼玉県スポーツ少年団空手道交流大会

9月12日　埼玉県立武道館

＜形の部小学生男子＞

1年①斉藤春誓（日誠会）②湯澤琉晟（日誠会）③吉野智哉（誠徳館）・所能之介（鴻巣空手）
2年①内田慶（日誠会）②柴田海（日誠会）③金田縁（白岡総合）・長谷川大翔（協会所沢）
3年①瀬山翼（明鴻会）②浅田航太（拳志会）③大谷朋輝（峰心会桶川）・宮崎悠斗（八潮空手）
4年①矢口陸（宮代空手）②根岸亮太（行田誠道館）③塩原明機（東亜連盟）・森田直輝（協会上尾）
5年①大美賀裕也（宮代空手）②河原啓志（日誠会）③嶋田力斗（研誠会）・大谷祐樹（峰心会上尾）
6年①釜賀永介（日誠会）②金田風雅（白岡総合）③上篠海（大宮空手）・塩原尚樹（東亜連盟）

＜形の部小学生女子＞

1年①野別未来（日誠会）②吉田理紗（東亜連盟）③石瀬桃菜（日誠会）・櫻本　紗也（新座市）
2年①矢口歌子（宮代空手）②照沼莉歩（東亜連盟）③小林未空（溝真会）・高井沙輝（三郷市空手）
3年①丸山美桜（拳志会）②小島夢姫（拳志会）③石井聖南（拳志会）・菅谷茅央（拳志会）
4年①上野彩果（拳志会）②山川未央（飯能空手道）③高井友輝（三郷市空手）・大江乃々夏（協会所沢）
5年①竹下綾香（拳志会）②小林真由（拳志会）③小倉涼（峰心会坂戸）・島田かりん（峰心会桶川）
6年①伊藤いぶき（東亜連盟）②平原理子（飯能空手道）③松島美桜（明鴻会）・大西実恵（東亜連盟）

＜形の部中学生男子＞

①西岡矩毅（協会所沢）②藤本大輝（宮代空手）③鈴木皓斗（宮代空手）・小熊章太郎（宮代空手）

＜形の部中学生女子＞

①小林美帆（拳志会）②佐藤柚奈（宮代空手）③芝崎沙果（峰心会上尾）・池田蒼衣（峰心会桶川）

＜組手の部小学生男子＞

3年①醍醐建（八潮空手）②浅田航太（拳志会）③瀬山翼（明鴻会）・柳智喜（協会所沢）
4年①河野直稀（与野空手道）②名取連太郎（東亜連盟）③廣田純一（上里町）・佐藤慶吾（協会所沢）
5年①河原啓志（日誠会）②嶋田力斗（研誠会）③伊藤大地・峯村大河（日誠会）
6年①小松崎勇人（東亜連盟）②今成泰晴（深谷市川本）③浅田宥人（拳志会）・河野弘希（与野空手道）

＜組手の部小学生女子＞

ている女子団員が単独でチームを組んだり、市町村単位で合同チームを構成して参加したりして、楽しんでいました。チームの名前も「さくらちゃん」「南埼ひまわりむすめ」など、かわいい名前がありました。

応援もスタンドいっぱいの人たちから声援があり、一生懸命プレーしていました。各チーム2試合行いました。勝ち敗けはありましたがお手伝いのお姉さんたちとの楽しい一日でした。

3年①中井舞（八潮空手）②石井聖南（拳志会）③丸山美桜（飯能法空会）・野寺春日（東亜連盟）
4年①吉田萌笑（協会上尾）②向山怜那（東亜連盟）③有光喜南（三郷市空手）・山川未央（飯能空手道）
5年①橋本彩花（協会所沢）②塚本楓（拳志会）③高松真咲（新座市）・小林真由（拳志会）
6年①中井成美（八潮空手）②土屋玲奈（行田誠道館）③臼方菜々海（八潮空手）・秋元唯（協会行田）

＜組手の部中学生男子＞

①清水一歩（明鴻会）②高杉健介（拳志会）③森功武（拳志会）・中村拓馬（東亜連盟）

＜組手の部中学生女子＞

①我妻萌乃花（八潮空手）②野口楷桜子（東亜連盟）③堀川ひかる（八潮空手）・吉澤夏菜（八潮空手）

第32回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

8月29日　埼玉県立武道館

＜小学生の部男子＞

1年①森田蒼大（松山南）②工藤泰輝（育徳館）③畑井孝心（八潮）・萩原信二（革進館）
2年①柏田和哉（育徳館）②高橋大知（三郷）③原京悟（男衾）・斉藤晴紀（秩父）
3年①鎌田龍誠（三郷）②高橋翼（育徳館）③柏田将哉育徳館）・大久保大和（加須）
4年①島田澪（育徳館）②島村天神（三郷）③植木人志樹（誠心館）・白川真生（三郷）
5年①阿部竜弥（加須）②岡安智弘（加須）③滝沢太基（加須）・斉藤慎也（育徳館）
6年①村田彪雅（吉田）②高橋歩夢（青柔会）③神村拓生（武里）・平野陸哉（講武館）

＜中学生の部男子＞

1年①嶋田明義（講武館）②川崎友鳳（八潮）③大谷慎也（明道館）・大川晃平（講武館）
2年①島村天太（三郷）②杉田敏也（男衾）③黒沢与輝（小鹿野）・笠本理功（養心館）
3年①大橋賢人（三郷）②村田健吾（吉田）③高橋潤（三郷）・向井雅人（志木）

＜小学生の部女子＞

1年①竹内もも（本庄愛）②坂口涼華（川本）③近藤陽菜（松山中）・小林未空（革進館）
2年①安晝まお（三郷）②堀井愛菜（武里）③深井ことね（春日部）・藤沼咲南（杉戸）
3年①高橋桃子（三郷）②佐藤怜愛（八潮）③大谷彩実（明道館）・滝沢真由（加須）
4年①田代渚（加須）②高橋珠理（青柔会）③西村みさき（養心館）・黒沢心華（小鹿野）
5年①小林恵子（三郷）②鈴木里佳子（春日警）③伊田朱音（川本）・石川汐音（男衾）
6年①大谷麻稀（明道館）②小林友佳（三郷）③木村眞央（養心館）・伊藤明日香（幸心館）

＜中学生の部女子＞

1年①金内夢路（三郷）②内村光里（蓮田）③高橋唯（青柔会）・小木曽千瑛（志木）
2年①滝澤美咲（青柔会）②成田優佳（講武館）③片田紅葉（男衾）・浅居苑香（加須）
3年①杉田綾音（男衾）②下沢由季（本庄愛）③古宅叶歩（蓮田）・今野瑞紀（男衾）

単位団紹介・ドッジボール

『大谷ドッジボールクラブスポーツ少年団』

『ドッジボールクラブスポーツ少年団（チーム名は大谷ブルーウインズ）』（上尾市）は、埼玉県スポーツ少年団にドッジボールを活動種目として登録している2団のうちの一つです。

平成13年、代表指導者兼監督の太田信哉さんが当時勤務していた上尾市の大谷小学校で担任する学年の児童を集め、市や県のドッジボール大会に出場しました。

その後、その子どもたちがドッジボールの楽しさに目覚め、「6年生になってもドッジボールがやりたい」との思いを太田さんに伝えました。そこで、太田さんが地域からも認められるようなクラブを作ろうと思い立ち、広く団員を募集したのがきっかけで平成14年4月に結成され、まもなく10年目を迎えます。

指導者は太田さんを含め6人。団員は3年生から6年生までの27人（男子21人、女子6人）。定期練習は小学校の体育館で週2回（火・金／午後5時～7時）。

休日には大会出場や、交流試合を主催したり、関東各都県のチームが主催する交流試合に参加したりしています。また年に3回程度、主に宮城や富山、大阪などの大会（合宿）に遠征出場しています。

主な大会成績は、全国大会3回出場（最高位はベスト16）。現在、昨年9月の埼玉県ドッジボール選手権大会優勝により出場資格を得た関東大会（3月12日）に向けて練習に励んでいます（上位に入れば全国大会出場）。

母集団は、練習・大会時の引率、クリスマス会等のレクリエーションの企画・実施など献身的に団活動を支えています。また、小学校を卒業して団を離れた子どもたちも後輩のために練習を手伝ってくれていま

公式ドッジボール競技の主なルール・作戦の紹介

■ルール

＊試合は12人対12人で行う。

＊元外野は何人出してもよいが、相手をアウトにしないと内野には入れない。

＊1セットは5分で1セットマッチあるいは3セットマッチで行われる。セット終了時に内野人数が多く残っているチームが勝利となる。

＊外野も枠に囲まれていて、そこからボールが出ると試合は中断する。最後にボールに触れた選手などによってボールの支配権を決定し、試合を再開する。

＊パスは4回まで認められ、5回目のパスをするとファールで相手ボールになる。

＊外野同士、内野同士のパスはできない。ボールを持った選手は自分で投げなくてはならない。

■作戦

＊ボールをよけるよりもキャッチすることを重視する。そのため、選手は横一列に並んで守備をし、相手選手と一定の距離を保ちながら組織的に移動する。

＊攻撃選手のボールは最大速度80km/h以上に達する。パスを回しながら相手を追い込み、アタックを打ち込む。

■ドッジボールの魅力

＊学年・男女にかかわらずチーム編成をすることができ、全員が出場し活躍することができる（公式ルールでは3年生以上でチームを編成）。

＊5分間という短い時間の中に、さまざまなドラマが詰まっています。外野からアウトをとれば2人差を詰めることができるため、残り数秒でも大逆転が起こることもある。

安全な少年団活動を！

1　スポーツ安全保険

まもなく、新年度となり新しい団員が加わることと思います。スポーツ安全保険への加入を忘れずにお願いします。

掛け金は、子どもＡ１区分（スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など）600円、大人ＡＣ区分（子どものスポーツ活動の指導）1,100円など、加入区分がいろいろあります、自分たちの活動に合うスポーツ保険への加入をお願いします。

単位団代表の方は、3月上旬に送られてくる資料及び申し込み用紙を確認してください。すべての団員・指導者が加入されますようお願いします。

大会・行事等、スポーツ保険の加入が規定されることがあります。

2　組織的な団運営を

一人の指導者がすべての運営・指導を行うには限界があります。

複数の指導者が①団の運営を担当する人　②専門技術を指導する人　③地域との協力や資金確保をする人などと役割を分担することが必要です。

複数の人たちで子どもを守り育てましょう！

3、活動場所の安全確認

新加入の団員及び保護者の方、また新しく指導を始める方などに活動を始める時の手順、屋外及び屋内の危険と思われる個所の点検、用具の確認などの指導助言をお願いします。

大会、試合等で普段の活動場所ではない所では、指導者、保護者、団員が一緒に使用規定を守り、許可されていない場所へ立ち入らないこと！

また、遠征等で自家用車を使用の場合（使用しないことが望ましいが！）は、交通ルールを守り無理をしないこと！（子どもたちに、車に乗せてもらう感謝の礼儀を教えることも重要）

駐車場と会場の移動に、安全確保をお願いします！

4　子どもたちの健康に留意

過密スケジュール（一日あたりの活動時間、一週間あたりの活動日数）に注意！指導者のなにげない一言が、子どもたちの心を傷つけます。（愛情をもって指導を！）

子どもたちが家に帰るまでが、団活動です。安全に帰宅できる時間に活動を終了しましょう！（日没時間に注意）

5　熱中症対策

まだ、気候的に問題はないと思いますが、指導者のか方、今のうちから熱中症に対する共通の認識を持っていただきたいと思います。

6　医療機関の確認

万が一の場合の協力医療機関の確認をお願いします。

診療科目、診療時間、搬送体制等の確認！

保護者・指導者・地域のみなさんで子どもたちを守り育てましょう！

※このページは、「スポーツジャスト」に掲載された内容を抜粋しています。

す。現在のコーチにも卒団生がいますが、今年の１月、成人式を迎えた第１期生が、全員で挨拶に来てくれたことを太田さんは大変喜んでいました。

公式ドッジボールは、遊びで行われているドッジボールとは異なるルールや作戦がたくさんあります。攻守とも緻密な作戦とボールの動きに瞬時に判断する対応力が求められる、とてもスピーディーな競技です。

この日の練習では、６年生男子の強烈なアタックボールを４年生女子が体全体を使ってがっちりキャッチする場面もありました。大会などで保護者や周りの人たちがこうした光景を目の当たりにしたら、きっと大きな感動を抱くことは間違いない……と感じました。

□代表指導者（監督）：太田さんの話

「団活動は、礼儀・挨拶を大切にすること、活動を支えてくれる方に感謝の気持ちを忘れないこと、チーム全員が心を一つにして試合に臨むことなどを基本方針として取り組んでいます。今後、公式ドッジボールの楽しさを多くの子どもたちや指導者の方たちに知ってもらい、近い将来スポーツ少年団の県大会が開催できるようになることを期待しています。」

まず参加　たのしくスポーツ　みんなが主役

（財）埼玉県体育協会キャッチフレーズ

平成22年度埼玉県スポーツ少年団 ブロック本部長会議

平成22年度埼玉県スポーツ少年団ブロック本部長会議が、東部（11月21日・蓮田市中央公民館）、西部（11月13日・日高市生涯学習センター）、南部（11月20日・桶川市桶川公民館）、北部（12月4日・熊谷市STAGE）の4会場で開催されました。

各会場とも21年度（16市14町64名）を上回る33市12町78名の出席があり、活発な意見の交換が行われました。その中で団が合併して少なくなった（飯能市、狭山市、ときがわ町）あるいは、チームスポーツではチームの構成ができない状態で合併が必要（鴻巣市）という気になる報告がありました。

サッカー団が合併した理由として、上手な子供はクラブチームに移籍してしまうため、中学校のサッカー部が成り立たなく、部がなくなり、中学に行ってサッカーが続けられなくなるため、団員が減少した（ときがわ町）、とのことです。

また、これに関連して、サッカースクールが活動場所（市の公園等を未申請で使用）を移動しながらのゲリラ的活動（蕨市、上尾市）も報告されました。

■団員の減少の理由

毎年、話題の中心になるのが団員の減少問題です。児童数減少（幸手市、川口市）。親の反対で入団できない（杉戸町）。大会数が多く保護者への負担が多い（飯能市）。親が手伝い等したくない（鴻巣市）。

■団員の減少対策

増加策としては、市や町の行事に協力・参加などが多くあります。

市事業の子供向けスポーツ教室開催（羽生市）。市事業の放課後子供教室へ少年団指導者が協力（久喜市）。未就学児や低学年（未登録）の子供を対象に遊び教室開催（白岡町）。社会活動をとおしてPR（蓮田市）。市体協主催スポーツ体験フェスティバルに協力（和光市）や、町の広報紙に団員の募集記事を掲載（伊奈町）。

その他として、低学年の勧誘（白岡町、小川町、本庄市）。学校のPTA総会時にスポーツ少年団をPR（杉戸町）、学校に協力をお願い（募集案内の配布、ポスターの掲示など）（嵐山町、鳩山町、和光市、深谷市）、母集団研修を充実させ団員増（志木市）。

未登録の団体に働きかけとして、野球（越谷市、所沢市、坂戸市）、剣道（越谷市、坂戸市）、サッカー（草加市）、バレー（桶川市）がありました。

■指導者に関して

指導者の資質の向上（幸手市、所沢市、蕨市、深谷市）。指導者不足（日高市、上里町）。

■市町村合併での問題

1市3町の本部合併に向けて協議。来年度については登録を一本化し活動は現状のまま、1年かけて規約等を整備（加須市大利根）。1市3町が合併したため、従来事業で使用していた施設等に不足が生じ見直しが必要（久喜市）。合併した際リーダーが分散してしまい再構築中。市内交流大会について旧市を支部化して大会を開催しているが統一性が薄いので今後検討（さいたま市）。合併後5年が経過し、やっと方向性が一致してきた感がある（熊谷市）。

スポーツ少年団認定指導者について

少年団結成には10名以上の子どもたちと1名以上の成人指導者が必要です。また最低1名以上の認定育成員か認定員の資格が必要です。

スポーツ少年団は、基本的には少年・少女たちのスポーツを通した自主的な活動の場ですが、精神的にも身体的にも未成熟な子どもたちに適切な助言・指導が必要です。

少年期の発育発達に応じた適切な指導を行うためには、技術的なことより、機能的・生理的・心理的なことを勘に頼ることなく科学的根拠に基づいた指導をすることが求められます。そのためにはすべての指導者が講習会を受講することによって資格を取得し、子どもたちの健全な育成に努めていくことが重要です。

認定員養成講習会受講について

認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会が県本部主催（年1回）その他各市町村本部主催が20個所（予定）で開催されます。多数の指導者が受講されることを望みます。

認定員資格取得の注意としては、まず23年度の指導者登録を済ませ、養成講習会を受講すること（2日間受講）。県本部が登録確認後、認定証・指導者必携書・ワッペンが配布されます（12月頃）。22年度養成講習会を受講され認定保留されている方も23年度登録確認後に認定されます。

編集後記

団員を増やすには、母集団の口コミによる勧誘がいちばんかもしれません。それには“魅力ある単位団”である必要があります。クリスマス会やお楽しみ会だけでなく、もっと魅力ある“何か”をみんなで探ってみませんか。

埼玉県スポーツ少年団事務局気付「育成広報委員会」
〒330-0063さいたま市浦和区高砂3-14-1 埼玉県自治会館内
TEL：048-822-5171 FAX：048-822-5174
E-mail：saitamaken@japan-sports.or.jp